



動物園からの手紙

[328]

50周年の節目にアムールヒヨウが誕生!

夜の動物園も終わりました。今年には特に外国の個人客の姿が目立ち、じわじわとグローバル化しているのを感じます。海外では、SNSでの情報の共有や拡散が進んでいて、テレビやホームページなどの情報より、個人間で交わされる情報に敏感な印象があります。

最近、外国人観光客が真っ先に「あざらし館」を目指し、行列ができることがあります。「旭山のアザラシ最高！」みたいなブログなどが、評判と共感を生んでいるのかもしれない。路線バスにも驚くほど多くの外国人観光客が乗っています。

繁殖です。旭山動物園の象徴的な存在として開園当初からアムールヒヨウを飼育していましたが、繁殖には至らず飼育は一時中断。平成元年にビツクとエイラのペアが来園し、同3年に雌のサクラが誕生。日本で初めての繁殖でした。

8月はうれしい出来事がありました。アムールヒヨウの



同8年にも雌の「こと」が誕生し、繁殖歴を終えました。ことはアムールヒヨウとしては異例に体が小さく、ペアの形成は断念し、旭山で一生を終えました。サクラは神戸市王子動物園で繁殖に成功。サクラの子は広島のア佐動物園で繁殖に成功しました。

その子供が現在の旭山の雄のキンとアテネで、ビツクとエイラのひ孫です。そして同27年に雌のルナがロシアから来園。昨年暮れからアテネとキンが交互にルナとのペアリングを開始しました。キンとアテネは12歳と若くはない年齢でしたが、キンの方がルナに関心が高く、ルナもキンを受け入れるようになりました。そして、本来よりも少し遅く5月の発情期に交尾に至り、8月に2頭の子が誕生。ビツクとエイラの血統をつなぐことができました。

50周年の節目にアムールヒヨウが誕生。きつと歴代の園長、飼育員も喜んでくれていてと思います。皆の思いに抱かれて、元気に成長してほしいと願っています。

旭川市スポーツ賞受賞候補者を推薦してください

●スポーツ賞Ⅱ本市のスポーツの普及発展に寄与し、国際大会または全国大会で特に顕著な功績があった個人または団体、その指導者

●スポーツ奨励賞Ⅱ全国大会で著しい成績を残し、今後の活躍が期待される個人または団体、その指導者

●スポーツ功労賞Ⅱ長年にわたり本市のスポーツの普及奨励に寄与し、著しい功績があった個人または団体

推薦方法 スポーツ課（〒070-1852 5 6の10 第三庁舎1階）、市HPにある申請書・推薦書に記入し、9月20日（水）10月31日（火）に郵送または直接同課

電話 スポーツ課 ☎23・1944

農業功労者を推薦してください

本市の農業の発展や振興に功績のあった農業者や農業生産組織、学識経験者を表彰します。

推薦期限 11月1日（水）

電話 農政課 ☎25・7417

まなびピアあさひかわの参加団体を募集

●学習体験会、講座、作品展示、ステージ発表

回来年 2月10日（土）・11日（日）

※ステージ発表は11日のみ。

所 市民文化会館（7の9）、まちなか市民プラザ（1の8）